動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話｛（鉄電） 千葉 2935・2936番
（公） 043（222）7207番

93、4、26 No. 3783

「政治改革」ー「政界再編」の動きが示す

『国家改造計画』の実態！

二大保守体制への道／拓く政界再編の動き

今国会における政治改革関連法案の審議と歩調を合わせる形で、虚々実々の政界再編（新党結成）の動きが跋扈している。

①、「自民党の心ある人々や社会党の改革を目指す人々、日本新党まで含めたものが望ましい」（民社党・大内委員長）と自民党・羽田派の離党への期待感を表明。

②、社会党、「平成維新の会」全国大会に出席した六人の議員（代理出席三名）の内、一名の除名処分を検討（現職の衆議院議員）。

③、（新党結成へ向け）、政権交代「準備会」の発足を提唱（日本新党・細川代表）

④、「社会党では改革の軸になれない。かなめは羽田派」（公明党・石田委員長）

⑤、「連立政権」では「自衛隊合憲」（社会党・改革議連、衆参八七名で発足）

とりわけ「選挙制度改革」における、民間政治臨調の提言＝「連用制」を巡る対応に、その動きが露骨に出てきている。

(1)、「法案不成立ー解散ー総選挙」への警戒感、「連用制」検討を（自民党・政治改革を実現する若手議員の会）(2)、前向きに検討（社会党・選挙制度プロジェクト）(3)、「妥協案」として「連用制」を了承（公明党）(4)、「二大政党に向けた野党再編の起爆剤になる可能性があり、画期的」と評価（連合・山岸委員長）等々。

「政治改革」が二大政党＝二大保守への道を拓く方向へと流れていることが、以上のように見てとることができる。

「改革勢力」に見る／密接な人脈図！

今日の世論調査において、自民党に続く支持率を獲得しているとされる「日本新党」、先日大会を行った「平成維新の会」、そして「民間政治臨調」、「連合」、この動きが、今やそのキャスティングボードを、自民党・羽田派とともに握っているとされている。

別表から明らかな通り、**「日本新党」の人脈図からも、非常に密接な関係を持っていることが如実に示されている。**

民間政治臨調＝政治改革推進協議会と、その下部機関である委員会の主要メンバーは、政財界と「連合」が深く関わっていること、そこに参加する国会議員は、自民・社会はじめ九五名にも及んでいる。（九二年四月現在）

解体対象とされる社会党の屈伏！

攻撃の焦点は、ひとえに社会党の解体へと向かっていること、五五年体制＝「政治の枠組み」の改編であり、革新政治形態の徹底した切除として進められている。その意味では総評解散ー「連合」結成に、「抱擁したい」とした支配階級の意思が、より明確なものとして浮き彫りにされる。解体宣言とも言える意図を認識しつつ社会党は、屈伏に次ぐ屈伏の道を選択し、今春闘での特徴点である労使関係の再編（終身雇用制などの解体）と合わせ、「政界再編」が、改憲へと結びつくものであることを、白日の下に見て取ることができる。

革新都政を実現しよう！

【推薦候補】
長谷川英憲（杉並区）
大川ひさし（葛飾区）

長谷川英憲都議 54歳。1967年区議初当選。5期16年。89年都議当選。住宅地域委員。高円寺在住

六月都議選推薦候補の必勝を！

改憲へのシナリオ

その政策が示す「新翼賛体制」攻撃

ＰＫＯ派兵を恒常化させ、改憲を叫ぶ自民党、「創憲」などと言い始めるに至っている社会党、「新憲法の制定」「アジア・太平洋重視の外交」を標榜する平成維新の会、中曽根元首相の「国家改造計画」としての行革政治を、「民間」の側から継承する役割を担ってきた「民間政治臨調」、その政策は、第二次大戦前夜の「翼賛体制」づくりとあまりにも酷似している。

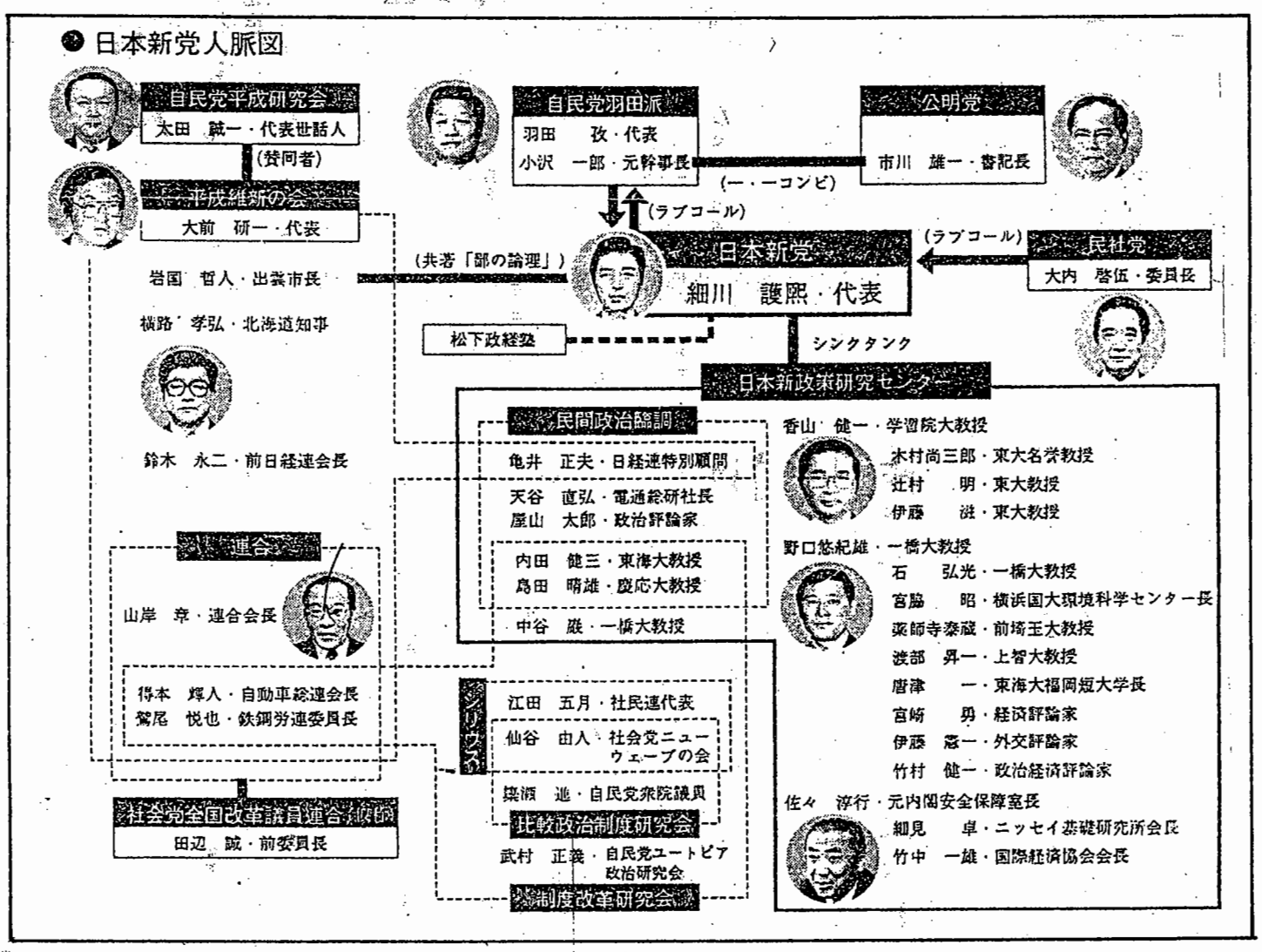
「政治改革」＝「政界浄化」の動きが、「国家改造計画」の一環である「政治刷新」＝「政界再編」と名を変え、ＰＫＯ海外派兵の恒常化からの自衛隊「国軍化」、それを支える国家体制確立、「国際貢献イデオロギー」を前面に押し出す中での国民意識の再編、表裏一体となった「生活大国イデオロギー」の浸透となって出てきている。

真の労働戦線の構築・政治再編を創造しよう！

われわれは、「新翼賛体制」づくりと言える「政治改革」の動きの全ての実態を見抜き、真の労働戦線と政治の再編を闘いとらなければならない。根本的変革の実現を求める全民衆の決起を促す、壮大な闘いの創造こそが最も必要・不可欠と言える。

第一三回ボーリング大会！

日時　五月八日（土）一二時スタート

場所　千葉市・アサヒボウル

組合員・家族は奮って参加しよう